

| | |
|-----|---|
| 共通 | (1) 常在戦場、米百俵の精神 |
| | (2) 二度の戦禍、度重なる災害から復興してきた長岡、平和・非核宣言都市 (戊辰、第二次世界大戦で各8割焼失、江戸期からの度重なる大水害、中越地震) |
| | (3) 長岡の花火にかける想い ~慰靈・復興・感謝と市民花火フェニックス |
| | (4) 豊かな自然、食文化と共に、アート・文学など文化の薫り高い商工業都市 |
| | (5) 明治から昭和の、オイルシティ長岡の歴史と恩恵の物語 |
| | (6) 江戸時代から続く武家文化、城下町のあと (摺田屋ガイドでもご紹介) |
| 摺田屋 | (1) 醸造のまち 日本酒、機那サフラン酒、醤油、味噌、パン酵母 |
| | (2) 商いの永続 サフラン酒・当主の饅絵に込めた想い、星野本店・蔵の扉の家訓、創業越後最古の会社・吉之川の全国に先駆けた技術開発と業界改革 |
| | (3) 民俗宗教 稲荷、地蔵、十二神社 |
| | (4) 摺田屋のアート 饅絵、書 (甘露泉、酒ラベル、星六)、ポスター館、童画の川上四郎 |

| | |
|--------|--|
| 駅裏・町なか | (1) 米百俵の精神を継ぐ二つの学校 ~ 藩校の最新・万国公法教科書、明治期から戦前の教科書、毎年の小学六年生全員の米百俵・英語劇 |
| | (2) 江戸期に庄屋が始めた福島江など大規模灌漑、新田開発 |
| | (3) 大正期の長岡大変革 ~ 悠久山公園、長岡高工、製油関連業の集積 |
| | (4) 美術の宝庫 ~ 駒形十吉記念美術館、阪之上小、長岡高校 |
| 山本五十六 | (1) 二つの覚悟 養子として戦国期からの名家を継ぐ覚悟 ~ 誠意とまごころ 駐在武官として米滯在時の彼我の国力差認識 ~ 戦争回避の決意 |
| | (2) 書、語録 記念館に掲示されている、多くの書の味わい 語録は、部下の教育への想い |
| | (3) 山本公園と復元生家 (高野家) ~ 小さい家屋と言う勿れ |
| 継之助 | (1) 牧野・長岡藩の幕末20年の藩政改革・借金返済・財政立て直しと武装中立 |
| | (2) 幕末の五十年間、老中を輩出し続けた長岡藩の描いた「新しい日本」 |
| | (3) 記念館、河井継之助を描いた、司馬遼太郎さんの長編小説「峠」 |
| 千秋が原 | (1) アート 県立近代美術館所蔵品と、全国に分散した大光コレクション ~19世紀ヨーロッパ絵画、20世紀近代日本洋画、現代絵画 |
| | (2) かつて日本一の産油量だった東山油田と工業都市長岡の資料館展示 |
| | (3) 幕末、維新以来の人物銅像、モニュメント、庭園 ~亀倉雄策、柳原俊明 ~ ふるさとの森、近代美術館の庭園、造形大学の構内散策 |
| その他 | (1) 東山、西山、国営丘陵公園、雪国植物園、悠久山、市内各所の自然 (桜、雪割草、カタクリ、ユキツバキ群生、紅葉、雪景色と、市街地近くで、自然が満載。) |
| | (2) 山古志の通年棚池景観、日本一の錦鯉、火祭り、そして牛の角突き (圧巻の風景と色彩。美肌の湯の蓬平温泉は山古志の入口、摺田屋から車で20分。) |
| | (3) 柳原地区の、巨大あぶらげ、火防・秋葉神社、上杉謙信城主となった城の跡 |
| | (4) 市内各寺院と城下の町割りの物語 (三河以来の譜代として外様への対策町造り) |
| | (5) 良寛禅師 (三島町和島、分水町、出雲崎町の史跡、史料館) |
| | (6) 明治の外交官堀口久萬一と大學父子 |